



国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata

八街ロータリークラブ週報

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimata/rc/>

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール

毎週水曜日 12:30～13:30

電話 043 - 443 - 3021

FAX 043 - 443 - 7221

創立 1966年(昭和41年)5月22日



国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム
(CHATTANOOGA RC 米国)

会長 鎌形 芳法 ・ 会長エレクト 萬来 謙一 ・ 副会長 山本 和男 ・ 幹事 生形 健一

第51巻 第21号

通巻 第2455号

2017. 2. 15発行

第2454回 2017年2月8日例会報告

【出席報告】

SAA 門倉 光正

【会長挨拶】

会長 鎌形 芳法

例会	出席計算 会員数	出席	欠席	出席 率%	MU	修正 出席率%
2/ 8	32	29	3	90.63		
1/ 25	32	27	5	84.38	1	87.5
会員総数 37名 (内名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 7名) 通算出席率 87.98% 1/25メイクアップ1名・生形幹事(理事会)						



点 鐘 会長 鎌形 芳法
ソ ン グ 手に手つないで
お 客 様 地区職業奉仕委員長
中村 俊人様(柏東RC)

【ニコニコボックス】

◇奥様誕生日 ・大野 真里会員

◇いつも週報ありがとうございます。鎌形会長のお父様には大変お世話になりました。
伊藤 謙三名誉会員

こんにちは。1月は職業奉仕月間でありました。今日、2月初めに地区職業奉仕委員会の中村委員長をお迎えできたことは、タイムリーな事であると思います。後程卓話を頂きたいと思います。今年度はRIの定款変更も在り、私はロータリーにおける職業奉仕の立ち位置がいま一つ理解できずにいます。そのあたりを含めて教えていただければと思います。

職業奉仕の神髄は「4つのテスト」にある。(1932年ハーバート・テイラーが提唱)「We serve」ではなく、自己の職業を通じて個人的に奉仕する「I serve」がロータリーの特徴といわれています。自らの職業を通して社会に貢献することが、ロータリーの職業奉仕であると強く思っています。

今、優先する価値観が大きく変化していると感じます。例えば自家用車は自動運転に

向けて開発が進み、トラックも高速道路においては試験的に無人走行テストが行われています。物流の面においても、効率化・合理化・コスト削減が最優先され、今までにない共同輸送・配送が出てきました。全ての事が、より効率的に・無駄なく動くことが、優先される時代であるような気がします。職業奉仕と社会奉仕の棲み分けも、時代の流れや価値観の変化によって変わり、そして職業分類を無くす？これも自動運転システムと同じような流れの中の事と理解すべきなのではないでしょうか？職業奉仕は社会奉仕と一体となり変化すべきものであると思いますが、私は職業意識をより強く持ったロータリアンでいたいと思います。

八街RC 3月例会スケジュール

3月 1日（水）	理事会 ・ 通常例会
3月 8日（水）	通常例会
3月15日（水）	移動例会（昼間の例会です）
3月22日（土）	通常例会
3月29日（水）	休 会

【委 嘱 状】



2016－17年度 RLI実行委員会委員として
昨年引き続き、原 弘行会員に委嘱状が
鎌形会長より渡されました。

【幹事報告】 幹事 生形 健一



◎NPO法人国際ロータリー日本青少年
交換委員会を他地区合同奉仕活動にする
ことを承認する件
＊3月の理事会にて検討する

◎次年度米山奨学生カウンセラーの候補者
檜木勝典会員が引き受けてくれました。

◎例会変更のお知らせ
《富里RC》
2月14日（火）→IMに振替休会

【卓話者の紹介】



大畑喜信職業奉仕委員長より本日の
卓話者の中村様の紹介をしていただき
ました。

【卓 話】 地区職業奉仕委員長 中村 俊人様(柏東RC)



「職業奉仕への思い」

皆様こんにちは。私は今年度地区職業奉仕委員長の役を仰せつかりました、柏東ロータリークラブの中村と申します。本日は八街ロータリークラブ様へ卓話者としてお招き戴きまして感謝申し上げます。

八街RC様の例会へ出席させて頂いたのは、2013年頃の米山地区委員会の頃に出席させて頂いた以来かなと思います。当時は本年度のガバナ補佐である高橋様にはたくさんの事を学びました。またその後のサポートも頂きとても感謝しております常に背中を見ていました。八街ロータリークラブには知った方々もいて、とてもクラブの雰囲気が良くて懐かしく思いますね。

さて、1月は職業奉仕月間として各クラブに卓話に訪問させて頂きました。現在地区の委員皆様で各クラブに卓話にお伺いするクラブは卓話依頼があった24クラブと要請予定の2クラブ予定しています。現在19クラブ終了しています。

本日は、八街ロータリークラブの皆様に役目柄少し職業奉仕について御話しをさせて頂きたいと思います。

1月号のロータリーの友にも前橋RCのロータリアンが職業奉仕に付いて投稿していますね。皆様は、「ロータリーでいう職業奉仕」についてどのようにお考えでしょうか？

職業奉仕に付いてはロータリアンの皆様は会員歴の違いによって様々な考えがあるように思いますが、10人10色ですね。

今年の規定審議会において、職業分類が大きく緩和されました。なくなってしまったと思っている方もいるようですが、無くなった訳ではないですね。

しかし、ロータリアンの職業分類が変わっただけで、職業奉仕に付いてはなんら変わりはありません。 2016年度のロータリー規定審議会では、職業分類も緩和され、多くの経験者や地域の奉仕活動をされている方も、ロータリークラブへの入会に対し門戸が広がりました。今回の改定により、ロータリークラブの会員身分をクラブ独自で決定できるようになりました。

しかし、ロータリーの職業奉仕は、ロータリアンとしての理念であり、その他の委員会と違い、何かの活動をして、形や結果として特別現れるものではないと考えます。

職業奉仕は日頃の日常を通じて行うことで、特別その時だけするという事ではない筈です。

職業奉仕という考え方では、他の多くの奉仕団体には無い、ロータリー特有の主義主張で、ロータリーの金看板だといわれていますが、私も同じ思いをもっています。

他のある奉仕団体では、

「自由・知性・愛国」を目標に、「明るい社会へ身近な奉仕」を合言葉にしています。

またある女性の奉仕団体は、ラテン語の「最善の姉妹」意味で立派な人格の婦人になる事を目標にしているそうです。

私達ロータリーのように、はっきりと自身の職業を通じて奉仕することを掲げて活動している奉仕団体は無いと思います。

ロータリアンたるところの職業奉仕という考え方と言われているね。

また、ロータリーの行動規範の中にも明記されていますが、

自分の職業のスキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域主会や世界中の人々の生活の質を高める

このように、地域の若者に対し、職業への意識を高める活動も大切な役割であり、また職業を通じての奉仕とは何かを伝える事も大切であると思います。

奉仕プロジェクト委員会・ロータリー財団との合同セミナーにおきまして、君津ロータリークラブの出前教室として学校訪問をして行った活動を発表して頂きました。

また千葉北RCさんも同じような出前教室を長年行っていて、昨年度RIより表彰をされました。このような活動は社会奉仕だといわれる方もおられますが、職業という

ことについて、若者への職業への意識を高める事や伝達も立派な職業奉仕だと思います。

職業奉仕と社会奉仕は隣りあわせとなっ
ていくことです。とても繋がりがあ
りますね。

「ロータリーでいう職業奉仕」とは、自分の職業に「誇り」と「愛情」を持って最大級の努力をし、また、単なる金儲けではなく、ロータリーで言う奉仕の精神で地域や社会生活に関連して、どれだけ重要性を持っているかという「誇り」であると思います。

自身の仕事を通じて奉仕活動をおこなった中で「受益者」は誰なのか。

地域の皆様が、又は誰かが受益者となるのであれば、それは社会奉仕であり、仕事を通じて奉仕活動をし、そこで得た信用や信頼をロータリアン自身が得たならばそれは職業奉仕ですね。

自分の職業に誇りを持つ事、自分の職業に責任を持つ事がとても大切だと思います。

誇りには責任を持たないとなりません。でも、誇りや責任ばかりでは事業を営む上では発展はしません。

そこに「事業経営の努力」が必要だという事は言うまでもありません。

職業への努力をし、事業が発展していかなければ利益は上がりません。厳しい中でも事業主には付いて廻るものです。事業が元気でなければ奉仕へは目を向けられません。会社を無くしてはならない事です。職業奉仕にはいろいろな取り組み方がありますが基本は一つです。

「ロータリアンは、職業を通じて社会へ貢献しなければならない」という事です。

よく、「職業奉仕は難しい」とか「職業奉仕はわからない」という方がおられますが、決して難しくも解からないものでもありません。「自分のやっている事を一生懸命、高潔性を持って正しく行う」ということです。

ロータリーの職業奉仕で忘れてはならないのは、皆さんもご存知な「四つのテスト」です。

言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

職業奉仕については、

「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」に変わりました。また行動規範も再改定されました。もう一度見直してみたいと思います。

皆様のクラブの中で職業奉仕に付いて語っていますか？

食事の時や、ロータリアン同士で是非話してみてください。

ロータリーの原点である「職業奉仕」を理解し、他の団体と違う、ロータリーの仲間全員が「ロータリークラブに入ってよかった」と思ってもらえるようなクラブを作りましょう。この良い機会が例会の食事の時やまた、ファイヤーサイドミーティングなどの時間を作った仲間交流ではないかと思っています。

ロータリーで仲間づくりをすること。楽しむ事。そして奉仕をする事。

人生は人との出会いであり出会いの連続です。ロータリーは一人ひとり奉仕をする職業奉仕である。

このような職業奉仕について、クラブの職業委員長さん自らクラブ内で話してみてもいいと思います。人前で話すのは決して易しいものではありませんが、是非各クラブ会員の皆様へお願いをしたいと思います。どうぞ宜しくお願いを致します。